

日本体育測定評価学会 2022 年度 第 3 回理事会 議事録

日 時：2023 年 3 月 11 日（土曜日） 16:00～17:55

場 所：東海大学湘南キャンパス 15 号館 6 階 スポーツ医科学研究所多目的室

出席者：村瀬（会長）、武藤、宮口、長澤（副会長）、山次（理事長）、中谷、佐藤進（副理事長）、太田（監事）、春日、久保田、坂井、佐藤敏、鈴木、高橋、中田征、中田由、林、涌井（理事）

書面出席者：酒井（監事）、石井、石原、大藏、北林、國土、小林、野口、萩、松田、村山、山田（理事）

欠席者：なし

山田学会大会事務局長より、挨拶があった。

<定足数の確認>

議長（山次理事長）が出席者と書面出席者による委任状の合計が定足数を満たしていることを報告し、開会を宣言した。

<会長挨拶>

村瀬会長より挨拶があった。

<議事録署名人の選出>

議長（山次理事長）が議事録署名人に佐藤敏理事と中田由理事を指名したい旨を発言し、一同に承認された。

議 題：

I. 協議事項

1. 名誉会長（案）【総会資料 8】

名誉会長（案）について、村瀬会長より総会資料 8（案）に基づき説明があり、審議の結果、原案が承認された。

2. 総会における審議事項および報告事項(案)に関する確認

1)2023 年度事業（案）について、山次理事長より総会資料 6（案）に基づき説明があり、審議の結果、原案が承認された。

2)2023 年度予算（案）について、山次理事長および涌井庶務委員長より総会資料 7（案）に基づき説明があった。また、会員会費が会員数減少で減額されていること、その他事業収入の増額 2 万円は紙媒体の学会誌の購入費を考慮していることが確認された。審議の結果、総会資料 7（案）に 1 点修正（収支決算には影響しない点）をすることで原案が承認された。

3)2023・2024 年度学会役員（案）について、山次理事長より総会資料 9（案）に基づき説明があり、原案が承認された。

4) 2022 年度学会賞・奨励賞（案）について、山次理事長より総会資料 8（案）に基づき説明があり、学会賞および奨励賞の候補者が提案され、原案が承認された。

5) 2022 年度功労賞（案）について、山次理事長より総会資料 8（案）に基づき説明があり、功労賞の候補者（1 名が辞退され 5 名）が提案され、審議の結果、総会資料 8（案）の年度を訂正することとし、原案が承認された。また、村瀬会長より、功労賞については、年度を跨ぐと所属が変わり授与しにくくなるケースが生じるため、年度内に決定することとなっているという説明があった。

6)名誉会員〔2023 年 4 月 1 日付〕（案）について、山次理事長より総会資料 8（案）に基づき説明があり、名誉会員の候補者が提案され、審議の結果、原案が承認された。

- 7)その他(報告事項の資料確認など)として、山次理事長より総会資料4(案)、総会資料8(案)に基づき説明があり、中田_田編集委員長より総会資料4(案)の2022年度事業中間報告の4.英文機関誌発行に関して「英文機関誌 Vol.20(2022年4月~12月)を発行」とすることが提案され、審議の結果、承認された。また、山次理事長より、学会事務局が2年任期となっている説明があり、来期の学会事務局についての意見を求めたところ、村瀬会長より引き続き坂井理事に依頼したいとの提案があり、審議の結果、承認された。
3. 2023年度研究助成募集要項(案)について、山次理事長より〔資料A①、資料A②、資料A③〕に基づき説明がなされ、審議の結果、原案が承認された。また、メーリングリスト(以下、ML)を用いて資料A③を送信することが提案され、審議の結果、承認された。
4. 日本体育・スポーツ・健康学会第73回大会専門領域企画(案)について、中谷学会大会委員長より、〔資料B〕に基づき、スケジュールおよびキーノートレクチャーに関する提案の説明がなされ、スケジュールについては、審議の結果、原案が承認された。キーノートレクチャーのテーマに関して、村瀬会長および中田_田理事より、内容の示し方を工夫し、体育学会の他領域の会員に興味をもってもらうようにすると良いのではないかという旨の発言があった。想定される講師の角田憲治先生に内容としてはこの方向性で依頼すること、そして学会抄録における内容の示し方の工夫をすることとし、審議の結果、原案が承認された。
5. 機関誌23巻(2024年3月発刊予定)以降の冊子体の販売について、中田_田編集委員長より〔資料C〕に基づき説明があり、審議の結果、原案が承認された。また、冊子体の今後については、様子を見て検討していくこと、発送に関しては学会事務局が行うこととなった。有償販売に関して機関誌発行前にMLを用いて購入希望調査をすることとなった。また「これまで特集記事に関しては冊子体のみ掲載されていたため、現状の制度の場合、ごく一部の会員しか閲覧できなくなってしまうという問題が生じる。そのため、特集記事も含めてオンライン化するのかを検討しなければならない。領域企画も含めHP上で公開することも検討すべきである。」等、様々な意見が出され、特集記事の位置付けに関してどう考えるべきか審議され、継続審議とすることとなった。
6. その他
- 1)学会大会について、山次理事長より、2022年度第2回理事会議事録の修正について説明がなされた。第2回理事会議事録には、身体科学研究会の参加費は従来無料のため、今大会に参加のみ場合は無料とし、発表する場合は日本体育測定評価学会の学会発表として取り扱い、大会参加費を有料とする旨が記載されている。後日、身体科学研究会の方針が変更され参加者全員の有料とすることとなり、第2回理事会議事録と齟齬が生じた。そこで、日本体育測定評価学会大会に参加する全ての者の参加費を有料とすることが提案され、承認された。会計についても全て日本体育測定評価学会大会として計上するとの記載があるが、身体科学研究会と別会計とすることが提案され承認された。また、今後は合同学会大会開催の場合は、参加費や会計に関して共通認識を持つために合同で準備を進めることとなった。また、次回理事会における学会大会報告を萩理事に依頼することとなった。
- 2) MLの運用法について、村瀬会長より、これまでの運用にプラスして会員に有益な情報はMLを使用して送信するという提案がなされ、審議の結果、承認された。また、MLを使用する際のルールが定められていないので、今後、詳細な運用法を検討することとなった。HP上でMLの受付窓口を設け、フォームへの入力などにより、MLを用いたメール送信の申請をすることが提

案され、それが可能かを小林ホームページ管理委員長に確認し、可能であれば ML を使用して、申請方法について会員に連絡することとなった。ML 運用法が定まるまで、会長、理事長の判断で運用することが提案され、承認された。

3)消費税に対する対策について、坂井学会事務局長より、資料 E に基づき説明があり、これまで広告等で支援いただいていた企業には賛助会員になっていただき、本会へは会費を収める形とする提案がなされ、審議の結果、継続して検討していくことが承認された。また、賛助会員については会則において会員種別に記載はされているが、会費や特典(学会大会抄録集への広告掲載、学会大会時の機器展示・広告、HP バナー、ML を運用して新刊のお知らせなど)などが定められていない。そのため、賛助会員の会費や特典、会費額によって特典をかえる、入会手続き方法など、賛助会員に関する会則について、村瀬会長、山次理事長、坂井学会事務局長で原案を作成し、2023 年度第 1 回理事会で提案することとなった。また、その理事会における提案までに、賛助会員に関してアイデアがあれば、山次理事長まで連絡するよう依頼があった。

II. 報告事項

1. 学会事務局(会員数など)について、坂井学会事務局長より〔資料 E〕に基づき、現在の正会員は 254 名、名誉会員 12 名であること、2022 年 8 月から 2023 年 2 月の会員動向(入会 8 名、退会 4 名だが会員は減る傾向にあること)や学会賞・奨励賞・功労賞の賞状の準備状況などが報告された。

2. 各委員会

1)庶務委員会

涌井庶務委員長より、総会資料 5(案)に基づき、会計中間報告について説明があった。

2)編集委員会

中田_田編集委員長より、資料 C に基づき、編集委員会活動、論文審査状況、オンラインジャーナルアクセス件数、和文機関誌第 22 巻編集状況、和文機関誌掲載広告募集結果、学会機関誌の web 公開作業、受理論文の早期公開および和文誌・英文誌の一本化、投稿規定の改定、紙媒体の廃止などについて報告があった。山次理事長より、電子媒体に伴う学会大会抄録の取り扱いについては今年度と同様(学会 HP 上にパスワードをかけて抄録 PDF をアップする)にしていけることが確認された。

3)学会大会委員会

中谷学会大会委員長より、資料 B に基づき、日本体育測定評価学会第 22 回大会・第 5 回身体科学研究会合同大会発表演題数(口頭発表が 24 演題(6 セッション)、ポスター発表が 57 演題、企業展示・デモが 6 社、1 大学院)、特別講演・シンポジウム、日本体育測定評価学会第 23 回大会(2 月下旬から 3 月上旬に福井工業大学で開催予定)などについて報告があった。

4)研究推進委員会・研究助成委員会

山次理事長より、2022 年度研究助成の採択件数は 0 件であったことが報告された。

5)渉外委員会(報告なし)

6)ホームページ委員会

山次理事長より、学会大会抄録 PDF がパスワード付き(パスワードは ML を用いてメールで送付)で HP に掲載されていることが報告された。また、J-stage 掲載後の HP の電子版をどのように扱うかはホームページ委員長と編集委員長で検討していくことが報告された。

7)将来検討委員会(報告なし)

8)倫理委員会

佐藤_進倫理委員長より、倫理委員会のあり方について今後検討していくことが報告された。

9)その他

山次理事長より、業務一覧の更新をして理事長まで送付するよう依頼があった。また、それを基に新理事会の委員に引継ぎするよう依頼があった。また、選挙管理委員会の業務詳細化、選挙規約について整理する、オンライン選挙についての検討など、選挙管理委員会から提案することが確認された。

3. その他

1)日本体育・スポーツ・健康学会の応用領域部会メンバーの入れ替えについて、山次理事長および春日理事より、説明があり、各応用領域部会から継続や入れ替えの要請があった場合に、対応することとなった。

2)山次理事長より、理事会資料のペーパーレス化（電子媒体化）が提案され、承認された。

[資料]

総会資料(案) 総会次第および総会資料【別ファイル】

資料A① 研究推進委員会・研究助成委員会 理事会資料

資料A② 2023年度 研究助成募集要項(案)

資料A③ 2023年度 研究助成募集案内(案)

資料B 学会大会委員会 理事会資料

資料C 編集委員会 理事会資料

資料D 学会賞選考委員会 理事会資料

資料E 事務局 理事会資料

以上で、議事を終了し、以って散会とした。

この議事録が適正に作成されていることを認めます。

議事録承認 2023年 3月 24日

議事録署名人 佐藤 敏郎 (印)

議事録署名人 中田 由夫 (印)

議長 山次 俊介 (印)

以上

[※平成25年度第1回理事会議事録から、学会ホームページ公表用議事録には議事録署名人および議長の直筆署名と印は示さず、署名捺印された書類は学会事務局で保管することとなりました。]